	①教員歴	②学生時代の学部・学科または専攻分野	③これまで一緒に活動したことのあるALTは何人ですか。	④ALTのうち、非母語話者（アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア以外）の用いる英語について、自身が指導する英語との相違を感じたことはありますか。（ここで「ない」と答えた場合は、⑦に進んでください。）	⑤（④で「ある」と答えた場合）それはどのようなものでしたか。（複数選択可）	⑥⑤は、具体的にどのような内容でしたか。	⑦ALTの用いる英語と自身が普段指導する英語との間に相違があった場合、それを正して統一すべきだと思いますか。（e.g. ALTはplay pianoと言っていたが、普段の授業ではplay the pianoと冠詞をつけるよう指導しているため、こちらに合わせるよう伝える。）		⑨母語話者の話す英語（アメリカ、イギリス、カナダ、オーストラリア）に限らず、世界には多様な英語が存在します（出身国での生活などの文化的な側面は含めず、発音や語彙、文法などの言語的な特徴に限って考えます）。授業内でこの多様性について生徒に紹介したり、指導したりすることはありますか。（ここで「ない」と答えた場合は、⑪に進んでください。）	⑩（⑨で「ある」「たまにある」「あまりない」と答えた場合）それはどのような内容ですか。（複数選択可）	⑪⑩の内容をどのように行ったか、簡単に教えてください。	⑫英語の多様性に関して、授業内で生徒に紹介したり指導したりすることは必要だと思いますか。	⑬⑫の理由を教えてください。	⑭英語でのコミュニケーションがうまくいかなかった（聞き取れない、伝わらない）ときの対処法を授業内で生徒に指導したり、紹介したりしていますか。（ここで「していない」と答えた場合は、アンケートを終了してください。）	⑮（⑭で「している」と答えた場合）それはどのような内容ですか。
1	１５～２０年未満	英米文学科	６人以上	ある	発音に関する相違	具体的な単語は思い出せませんが、アクセントが違っていた記憶があります	そう思う	アクセントや発音など教科書に記号が記載されているものに関してはそれが基本となるので、まずは基本を押さえたうえで「教科書にはこうあるが、地域によってはこのように発音するところもあるようです」と紹介する。発音以外でも教科書がベースになるので、あくまで基本は教科書とする。	あまりない	多様な英語があることの紹介	「日本人の話すカタカナ英語だって立派な英語の一種」等、主に発音について	あまり思わない	多少は触れてもよいと思うが、敢えて声高に話す必要もないと思う。英語を外国として学ぶ以上、まずは基本となる発音や文法がしっかりできたうえでの「多様性」だと思う。	している	日本人が英語ができなくて当たり前。遠慮せずに何度でも聞き直せ！or単語の羅列でもいいから伝えろ！
2	１５～２０年未満	文学部文学科英米文学専攻	６人以上	ない			あまりそう思わない	ひとつの言語にも多様性があり、そこを生徒に理解させることが大切だと思うから。（特に英語は広い地域で話されているので発音や語彙・綴りなどにも多様性があり幅広いといえると思います。）	たまにある	多様な英語があることの紹介	知っている範囲で雑談的にさらっと伝えた程度。オーストラリアのアクセントとかイギリスのアクセントや綴りがアメリカ英語と異なっていることとか。	まあそう思う		していない	
3	１５～２０年未満	外国語学科	６人以上	ない			あまりそう思わない	ライティングでは統一するが、スピーキングでは統一する必要はあまり感じない。話すことを目的としているので、細かい間違えは指摘しない。	たまにある	多様な英語があることの紹介	ブリティッシュイングリッシュのリスニング問題	そう思う	英語話者の大部分は、英語非母語話者であるため	している	パラフレーズする
4	５～１０年未満	外国語学部	６人以上	ある	発音に関する相違, 言い回し、使用表現（e.g. はっきり言うか、遠回しに表現するか）		あまりそう思わない	言語に多様性があるのは当然なので。	ある	多様な英語があることの紹介	イギリスでの実体験から、困ったこと、新鮮だったことの紹介。	そう思う		している	単語、表現が理解できなかったこと。現地の慣用表現など。
5	５～１０年未満	文学部・英文学科	６人以上	ある	発音に関する相違, 単語、熟語	発音に関してはアメリカ英語やイギリス英語に無い発音をしていましたが、意味はわかりました。	あまりそう思わない	正しいことを知っている必要はありますし、生徒が正しく使用する必要はあると思いますが、ALTと相違がある英語も英語として生徒が理解していく必要があると思います。	ない			まあそう思う	12の理由 →アメリカ英語、イギリス英語、オーストラリア英語だけが英語ではないと思います。他の国の人々が話す英語も英語として認めていけるような英語話者になって欲しいと思います。	している	話した内容を聞き返したり、聞き取った内容を自分の知っている単語を使って要約したりするように指導しています。
6	５～１０年未満	教育学部　学校教員養成課程　英語教育専修	４人	ある	発音に関する相違, 文法（文を形成する上での規則）	インドの方の「ｒ」の発音が、アメリカ英語とは全く異なり最初は戸惑いました。 ex.) important →インポルタント	まあそう思う	ALTとの授業の目的がコミュニケーションであれば、play piano 等は許容かなと思います。 プリントやスライドなどが事前に共有されれば、その点ツッコミます。	たまにある	英語非母語話者のALTの用いる英語の解説	⑥の経験を話しました。	あまり思わない		していない	
7	５～１０年未満	文学部教育学科	３人	ある	発音に関する相違, 単語、熟語, 文法（文を形成する上での規則）		そう思う	生徒が混乱しないように	あまりない	多様な英語があることの紹介	シンガポールの英語　シングリッシュ	あまり思わない		している	英語の聞き返し表現
8	１０～１５年未満	文学部教育学科	５人	ある	発音に関する相違	方言の範囲内かもしれませんが、母国語の影響か、教科書音声のアメリカンイングリッシュとは異なるもの。フィリピンの方で、タガログ語やスペイン語の影響を受けていたような印象でした。今一緒に働いている方はフィリピンの方ですが、とても綺麗なお手本のようなアメリカンイングリッシュです。	まあそう思う	英語の授業として、正しいものを教えるということに一貫性はあった方がいいと思うため。一方で、世界中には多様な英語話者がいて、その方々とのコミュニケーションにおいては今の解釈に支障がない範囲で、正しい英語とは異なる英語が話されている現状があることも生徒に伝えるべきだと思う。	ある	多様な英語があることの紹介, その他	大学入試共通テストにおいて、イギリス英語や非母語の英語音声が流れるため、その解説と学習方法の紹介として行った。	そう思う	本校では進学意識が高いため、上記の通り大学入試の攻略のために必要である。また、そうでなくとも世界中の人とコミュニケーションを取る上で必要であるから。	している	聞き取れない場合は、繰り返しまたはパラフレーズを要求する表現を、伝わらない際にはパラフレーズの方法を紹介している。
9	１５～２０年未満	英文学科	６人以上	ない	その他		あまりそう思わない	授業で生徒にplay the 〇〇を指導する場合には確認するが、口頭で話す際にそれがネイティブで通じる表現であるのならば指摘する必要性を感じない。ただ、ALTがplay the 〇〇についてtheをつけて教えることについて否定的であるのならば、理解の一致が必要。	ある	多様な英語があることの紹介	リスニングでの音声の違い、綴りの違い	まあそう思う	英語に多様性があることを理解していない生徒が多いのであれば説明するが、実際に扱った題材に関して教える際にいろんな英語に触れる機会があるので強く意識はしていない。YouTubeでインタビューの視聴など、自然と英語圏の人以外の英語に触れる機会がわりとあると感じる。	していない	
10	１０～１５年未満	教育学部	６人以上	ない			あまりそう思わない	それもひとつの英語のあり方だと思うので、否定しないと思います。ただ、混乱を避けるために、テキストの英語と違うね、世界にはいろんな英語があるよという伝え方をすると思います。	ある	多様な英語があることの紹介	インドやシンガポールの英語の発音の仕方を紹介したことがあったと思います。	そう思う	言語の多様性は文化の豊かさの証だということを伝えたいのと、日本語訛の英語でも自信を持って使おうというメッセージになるとおもうので。	している	聞き返し方とか、別の表現に言い換える方法などを紹介したことがあったと思います。
11	～１年	教育学部英語英文学科	３人	ない			まあそう思う	母語話者の真正性のある英語の使い方を優先し、定着させたいから。	ある	多様な英語があることの紹介	リスニング教材にイギリスやオーストラリアの英語を用いた原稿があるので、発音などを紹介した。	そう思う	試験で使用されることもあり、さまざまな地域の英語を知ることにより表現の幅を広げることが大事と考えるため。	していない	
12	３～５年未満	国際学部・国際理解学科	２人	ある	発音に関する相違	オーストラリアの方はやはり発音にイギリス訛りがみられました。	あまりそう思わない	言語は変化していくものなので。	ない			そう思う	多様性を伝えることで生徒が英語を学ぶ動機付けに繋がると考えるから。	している	失敗を恐れずに分かるまで聞くように指導しています。
13	１～３年未満	放送学科	３人	ある	発音に関する相違	具体的には覚えてないが、ところどころでたまに感じるほど。	そう思わない	いろんな発音、イントネーションがあって当然だと思うから。世界語ですから。	ある	多様な英語があることの紹介	授業時に時々出る表現とか思い立ったときに	まあそう思う	世界中の人が話しコミュニケーションをとるものであり、将来あらゆる面で必要であると。	していない	

英語の多様性とその指導に関する調査（回答）